

9 款 1 項 3 目

第 3 章 「心豊かな人づくり、まちづくり」

～教育の充実、スポーツ活動の推進～

【会計】一般会計

基本施策 7 心の教育が充実したまちにします

9 款：教育費 1 項：教育総務費 3 目：教育研究指導費

施策 1 心を育てる学習を充実します

事業	17	インクルーシブ教育推進モデル事業
担当所属		指導課

【予算額・決算額】(円)

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
10,827,000	7,765,569	0	7,765,569	0	0	0

【決算額の節別内訳】(円)

07	賃金	3,436,728	08	報償費	582,428
09	旅費	167,223	11	需用費	1,504,586
12	役務費	5,264	13	委託料	731,640
14	使用料及び賃借料	1,176,840	18	備品購入費	160,860

【実施計画の概要】

事業の内容	地域の教育資源の組合せ(スクールクラスター)の活用により支援が必要な児童生徒があらゆる場で合理的配慮に基づく支援が受けられる体制を構築するためのインクルーシブ教育推進モデル研究を行います。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ことばの発達に支援が必要な児童生徒のニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく、適切な支援が受けられるようにします。 ことばの発達に特別な支援が必要な児童生徒が、手厚い支援を早期から、かつ継続的に受けられる市独自の体制づくりを行います。 ことばの発達に支援が必要な児童生徒が学校や家庭で、課題克服のための取り組みが継続的に展開されるようにします。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ことばの発達に支援が必要な児童生徒への教育的効果を高めることができます。 特別な支援が必要な幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。

【事業の概要】

- ことばの教室の担当者を中心に、ことばの発達に特別な支援が必要な児童生徒への理解を深めるために、リーフレットを作成するなど、合理的配慮に基づく支援体制を築くための研究に取り組みました。
- 地域でことばの発達に関係する各機関と連携を図りながら、早期からの支援体制づくりに取り組みました。
- 学校支援コーディネーターや学校教育相談員などの専門性の高い人材を活用し、支援方法に関する研究を行いました。

【活動指標・成果指標】

指標名	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
ことばの発達に支援が必要な児童のための 研修を実施した学校の数	23 校	—	—
ことばの発達につまずきがある児童の改善率	20%	—	—
言語通級指導教室利用校数	19 校	—	—
ことばの発達につまずきがある幼児の 個別の教育支援計画作成率	50%	—	—